

## Ⅷ 事業所調査

### 1 事業所調査の結果のまとめ

#### (1) 事業運営について

経営主体は、「株式会社・有限会社」「社会福祉法人」「特定非営利活動法人」の順に多くなっています。開業年は、「平成 14 年以前」「平成 25～29 年」の順に多くなっています。

提供している障害福祉サービス、障害児福祉サービス等は、「居宅介護」「重度訪問介護」の順に多くなっています。また、介護保険サービスの指定状況は、「受けていない」が 68.1%、「受けている」が 25.5%となっています。

サービスを提供している利用者数（登録者数）は、「知的障害」「精神障害」「身体障害」の順に多くなっています。

豊島区で支給決定を受けたかたの割合は、「50%未満」「80%以上」、提供予定のサービスは、「居宅介護」「計画相談支援」の順に多くなっています。

運営上の課題は、「職員の確保」「職員の資質向上」の順に多くなっています。

#### (2) 職員について

職員数は、常勤・非常勤とも「1～5 人」が最も多くなっています。職員充足状況は、「やや不足している」「十分である」の順に多くなっています。

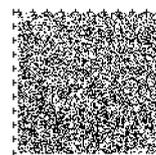
人材確保のための取り組みは、「賃金の改善」「様々な媒体を使った求人広告」の順に多くなっています。

人材育成のための取り組みは、「事業所内外での研修（事例検討会）の実施」が最も多くなっています。また、過去 1 年間に参加した研修は、「利用者支援や障害特性等に関する研修」「障害者の権利擁護に関する研修」の順に多くなっています。

#### (3) 今後のサービス向上について

医療的ケアの必要な障害者（児）の受け入れは、「現在も受け入れていないし、今後も受け入れる予定はない」が最も多くなっています。また、過去に実施した取り組みは、「サービスの質の自己評価」「利用者からの評価」の順に多くなっており、第三者評価受審の有無は、「ない」が 71.3%、「ある」が 26.6%となっています。なお、第三者評価を受けたことがない理由は、「費用がかかる」が最も多くなっています。

サービス向上に関する取り組みは、「利用者からの苦情や相談の受け付け体制を整備するとともに、職員間で共有するしくみを作る」が最も多くなっています。



## Ⅷ 事業所調査

### 1 事業所調査の結果のまとめ

虐待への対応は、「ない」が65.6%、「ある」が34.4%となっています。虐待への具体的な対応は、「区のケースワーカー等に相談した」「事業所・法人内で対応した」の順に多くなっています。また、虐待防止マニュアルの整備状況は、「事業所として整備している」、虐待防止に向けた取り組みは、「研修の実施」が最も多くなっています。

「合理的配慮」の提供に関する取り組みは、「サービス提供する障害者に対して適切に意思疎通ができるようにコミュニケーションの支援を行っている」「サービス提供する障害者に対して適切な対応ができるよう、研修を実施している」の順に多くなっています。なお、利用者支援やサービス提供で困った時、相談する先は、「区の障害福祉課」が最も多くなっています。

#### (4) 危機管理について

---

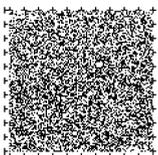
危機管理に対するマニュアルの整備状況は、「苦情対応マニュアル」が最も多くなっています。また、災害時の対策のために行っている取り組みは、「定期的に避難訓練を実施」「災害対応マニュアルの整備」「備蓄品の整備」の順に多くなっています。

障害者の安全確保のために必要な協力は、「利用者の安否確認とその情報提供」が最も多くなっています。

#### (5) 区の障害者施策について

---

区の「障害者・障害福祉・障害児福祉計画」の周知状況は、「計画を読んだが、障害福祉サービスの数値目標については理解していない」「計画を読んだことがあり、障害福祉サービスの数値目標についても理解している」の順に多くなっています。また、区の障害者施策に期待することは、「事業所に対する補助金の増額」「福祉人材確保のための方策」の順に多くなっています。



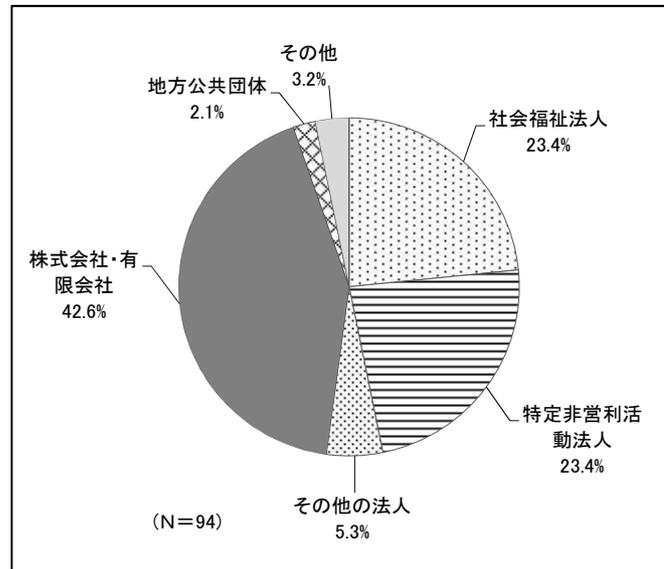
## 2 事業運営について

### (1) 経営主体

1-1 貴事業所の経営主体をお聞きします。(○は1つ)

経営主体は、「株式会社・有限会社」が42.6%と最も多く、次いで「社会福祉法人」「特定非営利活動法人」が23.4%となっています。

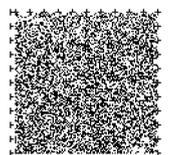
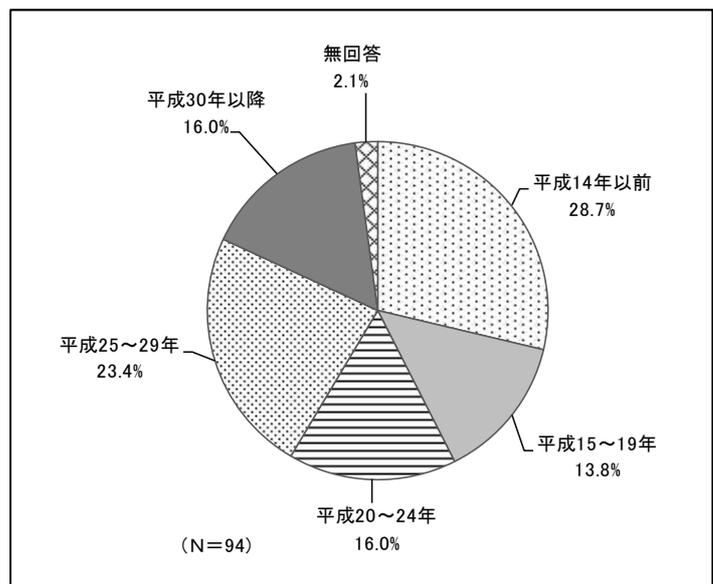
※以下は回答者0人のため未掲載：  
「医療法人」、「無回答」



### (2) 開業年

1-2 貴事業所の開業年をお聞きします。(○は1つ)

開業年は、「平成14年以前」が28.7%と最も多く、次いで「平成25～29年」が23.4%となっています。



(3) 提供している障害福祉サービス、障害児福祉サービス等

1-3 貴事業所で提供している障害福祉サービス、障害児福祉サービス等をお聞きます。(〇はいくつでも)

提供している障害福祉サービス、障害児福祉サービス等は、「居宅介護」が25.5%と最も多く、次いで「重度訪問介護」が20.2%となっています。

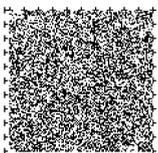
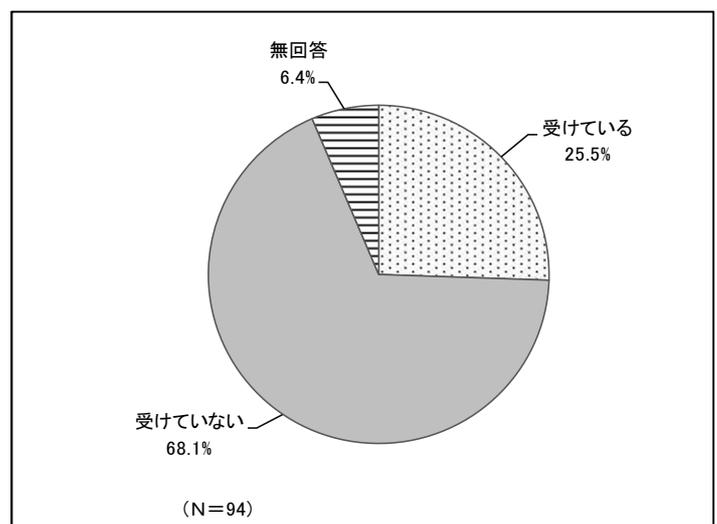
※以下は回答者0人のため未掲載：  
「重度障害等包括支援」、「保育所等訪問支援」



(4) 介護保険サービスの指定状況

1-4 貴事業所は介護保険サービスの指定を受けていますか。(〇は1つ)

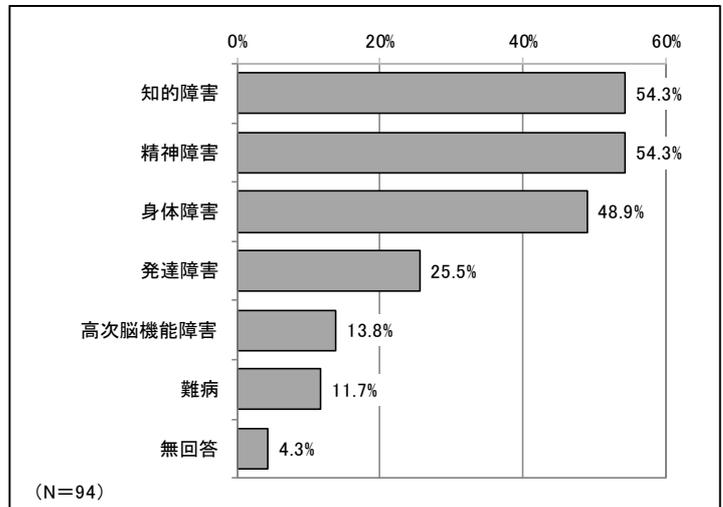
介護保険サービスの指定状況は、「受けていない」が68.1%、「受けている」が25.5%となっています。



(5) サービスを提供している利用者数（登録者数）

1-5 貴事業所でサービスを提供している障害別利用者数（登録者数）をお聞きます。該当する選択肢に○をし、( )内に人数を記載ください。なお、重複障害のかたは、主たる障害でお答えください。(○はいくつでも)

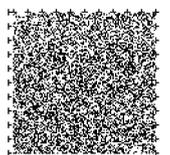
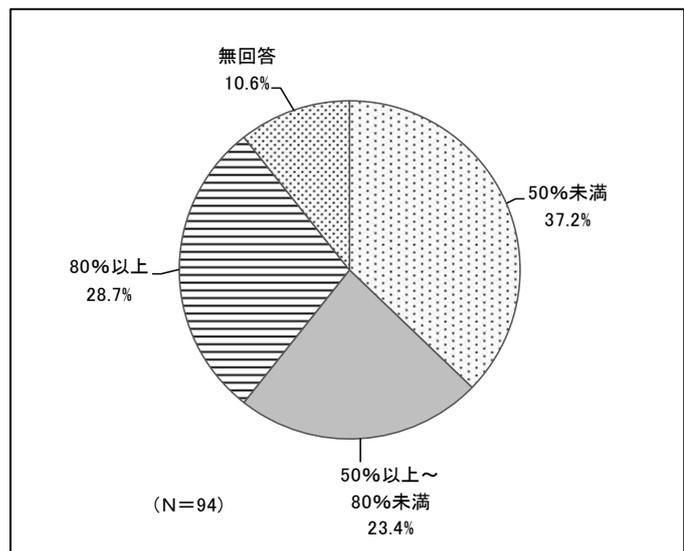
サービスを提供している利用者数（登録者数）は、「知的障害」「精神障害」が54.3%と最も多く、次いで「身体障害」が48.9%となっています。



(6) 豊島区で支給決定を受けたかたの割合

1-6 1-5でお聞きした登録者のうち、豊島区で支給決定を受けたかたの割合はどれくらいですか。(○は1つ)

豊島区で支給決定を受けたかたの割合は、50%以上の事業所が52.1%あります。



(7) 提供予定のサービス

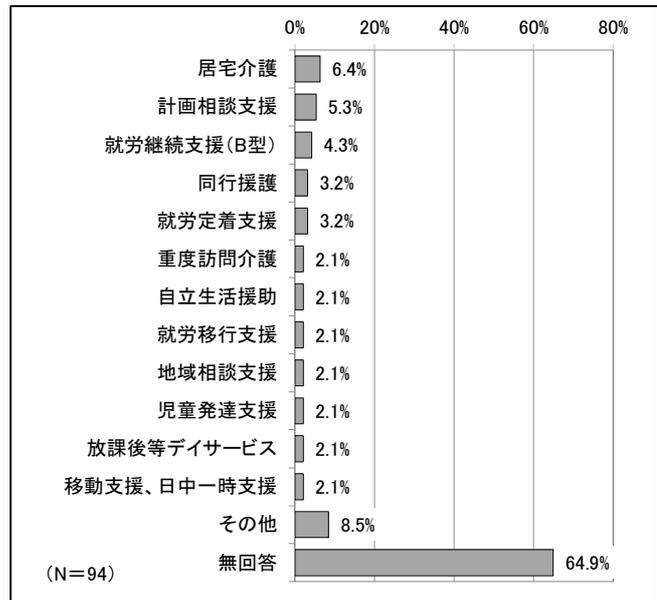
1-7 貴事業所の今後新しく提供予定のサービスをお聞きます。(〇はいくつでも)

提供予定のサービスは、「居宅介護」が6.4%と最も多く、次いで「計画相談支援」が5.3%となっています。

「その他」については、「特になし」という回答がありました。

※以下は回答者0人のため未掲載:

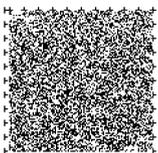
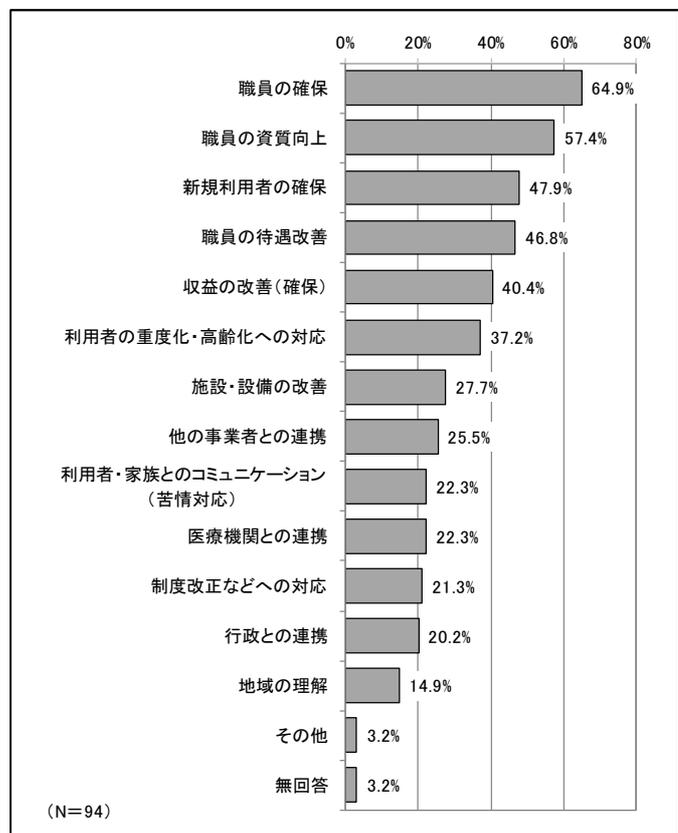
「行動援護」、「重度障害者等包括支援」、「生活介護」、「自立訓練(機能訓練・生活訓練)」、「就労継続支援(A型)」、「施設入所支援」、「短期入所」、「共同生活援助」、「障害児相談支援」、「保育所等訪問支援」、「地域活動支援センター」



(8) 運営上の課題

1-8 貴事業所の運営上の課題をお聞きます。(〇はいくつでも)

運営上の課題は、「職員の確保」が64.9%と最も多く、次いで「職員の資質向上」が57.4%となっています。

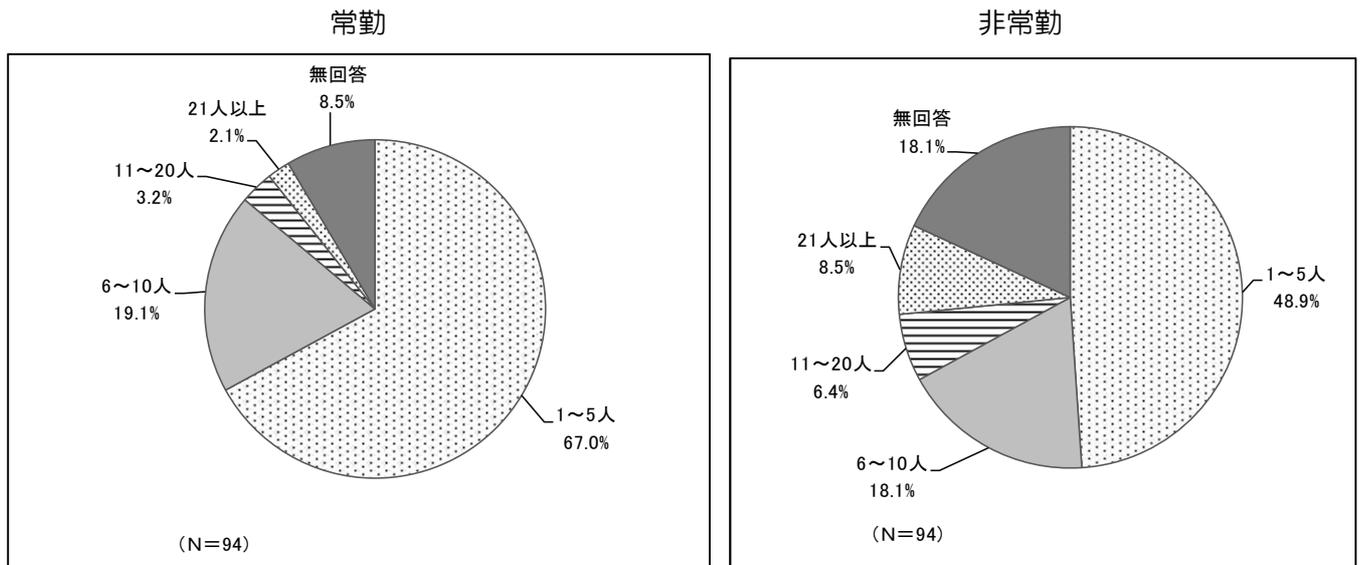


### 3 職員について

#### (1) 職員数

2-1 貴事業所の職員数についてお聞きます。( )内に数値を記載ください。

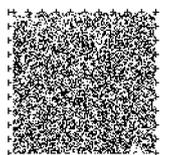
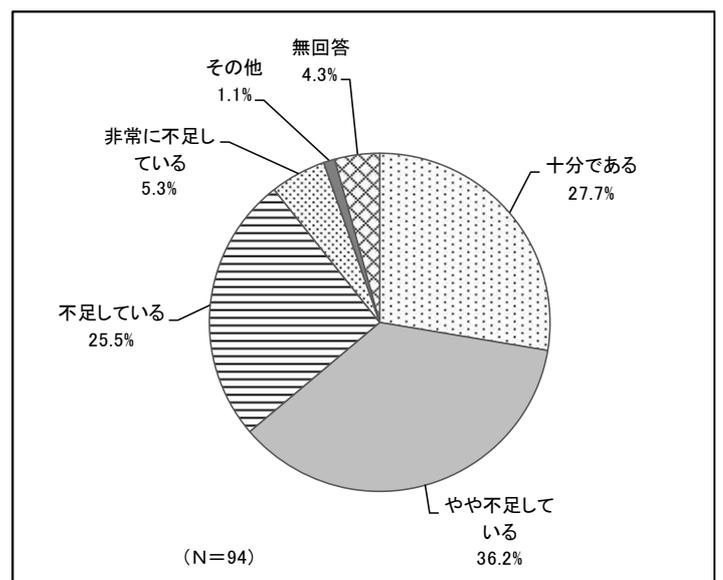
職員数は、常勤では「1～5人」が67.0%と最も多く、次いで「6～10人」が19.1%となっています。非常勤では「1～5人」が48.9%と最も多くなっています。



#### (2) 職員充足状況

2-2 貴事業所の職員充足状況についてお聞きます。(○は1つ)

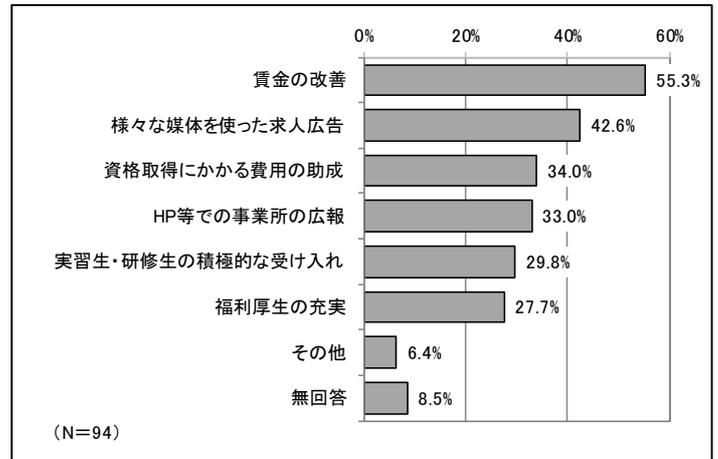
職員充足状況は、「やや不足している」、「不足している」、「非常に不足している」を合わせると67.0%となっています。



### (3) 人材確保のための取り組み

2-3 貴事業所の人材確保のための取り組みについてお聞きます。(○はい/□でも)

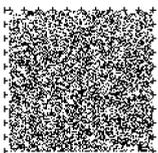
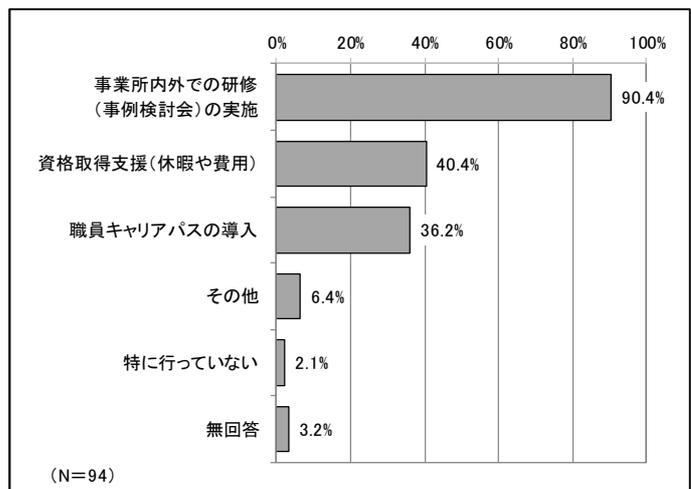
人材確保のための取り組みは、「賃金の改善」が55.3%と最も多く、次いで「様々な媒体を使った求人広告」が42.6%となっています。



### (4) 人材育成のための取り組み

2-4 貴事業所の人材育成のための取り組みについてお聞きます。(○はい/□でも)

人材育成のための取り組みは、「事業所内外での研修(事例検討会)の実施」が90.4%と最も多く、次いで「資格取得支援(休暇や費用)」が40.4%となっています。

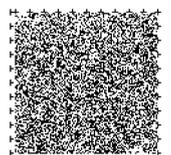
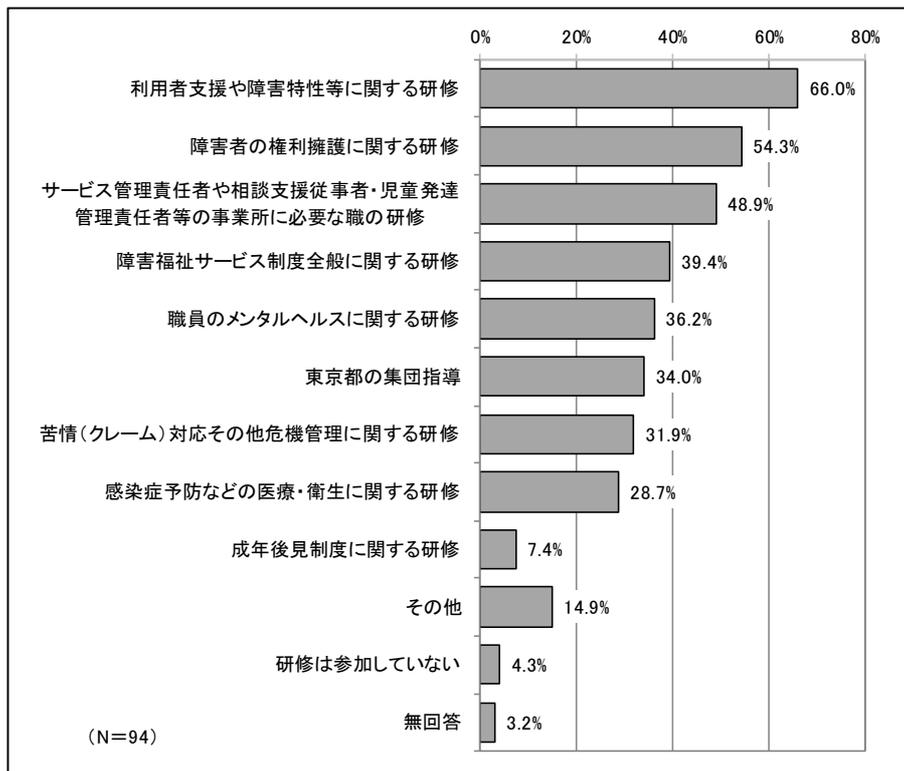


(5) 過去 1 年間に参加した研修

2-5 貴事業所の職員が、事業所内外を問わず、過去 1 年間に参加した研修についてお聞きします。  
(〇はいくつでも)

過去 1 年間に参加した研修は、「利用者支援や障害特性等に関する研修」が 66.0%と最も多く、次いで「障害者の権利擁護に関する研修」が 54.3%となっています。

「その他」については、防災に関するもの、地域生活支援に関するものという回答がありました。

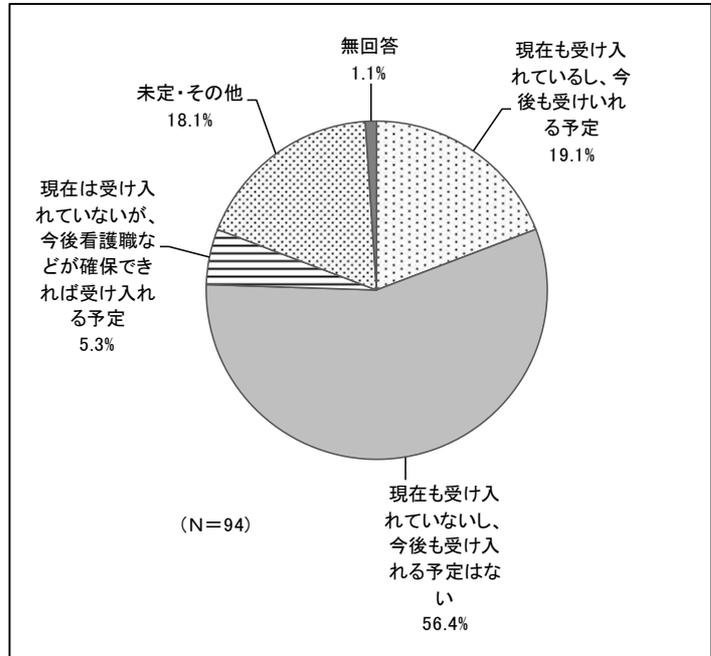


## 4 今後のサービス向上について

### (1) 医療的ケアの必要な障害者（児）の受け入れ

3-1 貴事業所では、現在医療的ケアの必要な障害者（児）の受け入れをしていますか。また、今後受け入れを予定していますか。（〇は1つ）

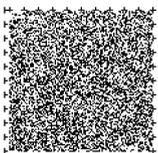
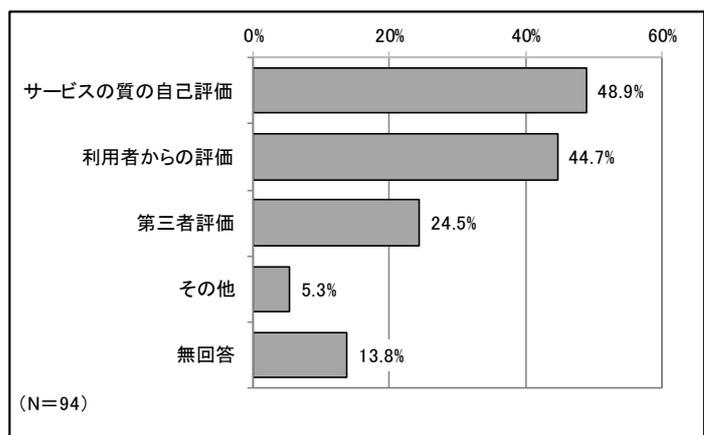
医療的ケアの必要な障害者（児）の受け入れは、「現在も受け入れていないし、今後も受け入れる予定はない」が56.4%と最も多く、次いで「現在も受け入れているし、今後も受け入れる予定」が19.1%となっています。



### (2) サービス評価に関する取り組み：過去に実施した取り組み

3-2-1 貴事業所で過去に実施した取り組みについてお聞きます。（〇はいくつでも）

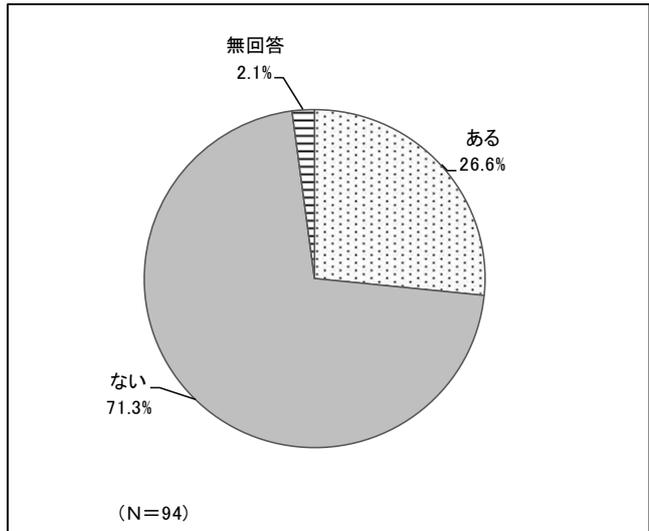
過去に実施した取り組みは、「サービスの質の自己評価」が48.9%と最も多く、次いで「利用者からの評価」が44.7%となっています。



### (3) サービス評価に関する取り組み：第三者評価受審の有無

3-2-2 第三者評価を受けたことはありますか。(○は1つ)

第三者評価受審の有無は、「ない」が71.3%、「ある」が26.6%となっています。

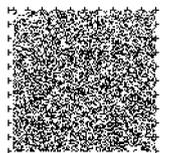
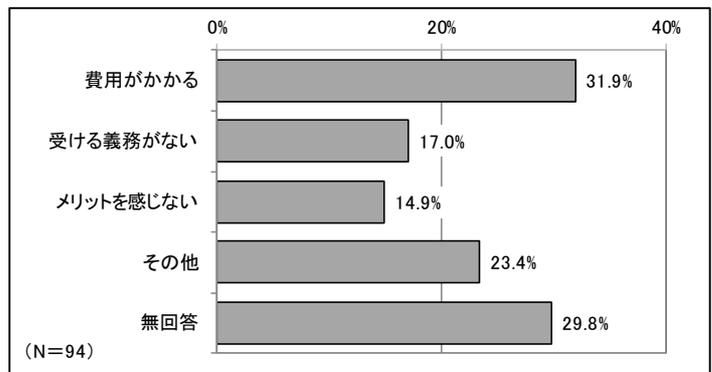


### (4) サービス評価に関する取り組み：第三者評価を受けたことがない理由

3-2-3 第三者評価を受けたことがない事業所に、理由についてお聞きします。(○はいくつでも)

第三者評価を受けたことがない理由は、「費用がかかる」が31.9%と最も多く、次いで「受ける義務がない」が17.0%となっています。

「その他」としては、(新設して間もないため)そこまでの状況ではないという回答がありました。



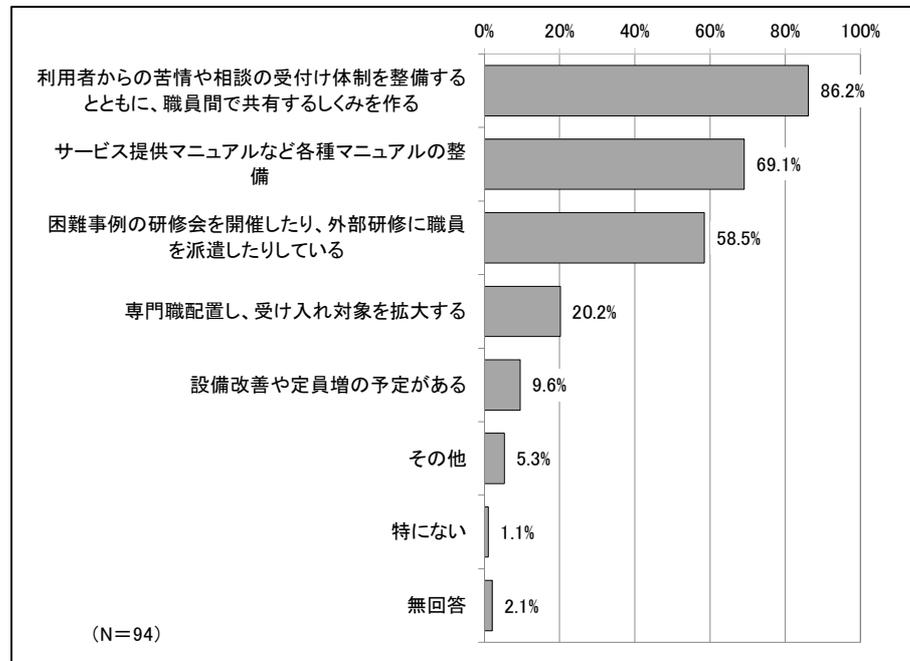
## Ⅷ 事業所調査

### 4 今後のサービス向上について

#### (5) サービス向上に関する取り組み

3-3 貴事業所でのサービス向上に関する取り組みについてお聞きます。(〇はいくつでも)

サービス向上に関する取り組みは、「利用者からの苦情や相談の受け付け体制を整備するとともに、職員間で共有するしくみを作る」が 86.2%と最も多く、次いで「サービス提供マニュアルなど各種マニュアルの整備」が 69.1%となっています。

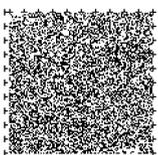
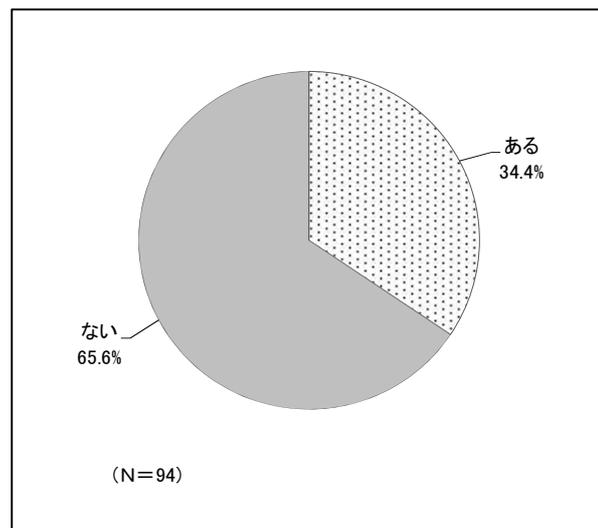


#### (6) 虐待防止について：虐待への対応の有無

3-4-1 貴事業所でこれまでに虐待(疑いを含む)に対応したことはありますか。(事業所内外を問わず)  
(〇は1つ)

虐待への対応は、「ない」が 65.6%、「ある」が 34.4%となっています。

※以下は回答者 0 人のため未掲載：  
「その他」、「無回答」

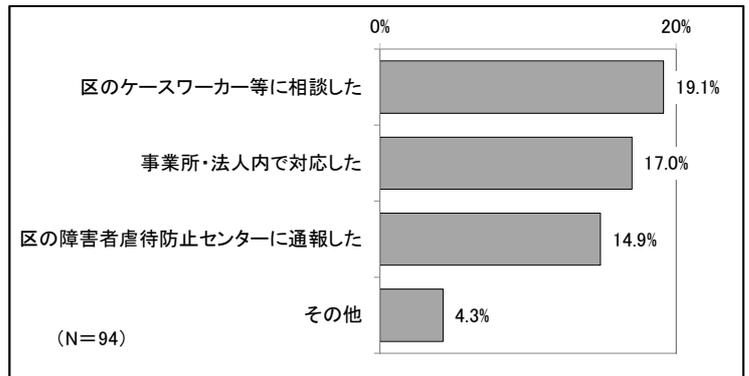


(7) 虐待防止について：虐待への具体的な対応

3-4-2 上記で「ある」と回答した場合、どのような対応をしましたか。(○はいくつでも)

虐待への具体的な対応は、「区のケースワーカー等に相談した」が19.1%と最も多く、次いで「事業所・法人内で対応した」が17.0%となっています。

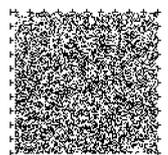
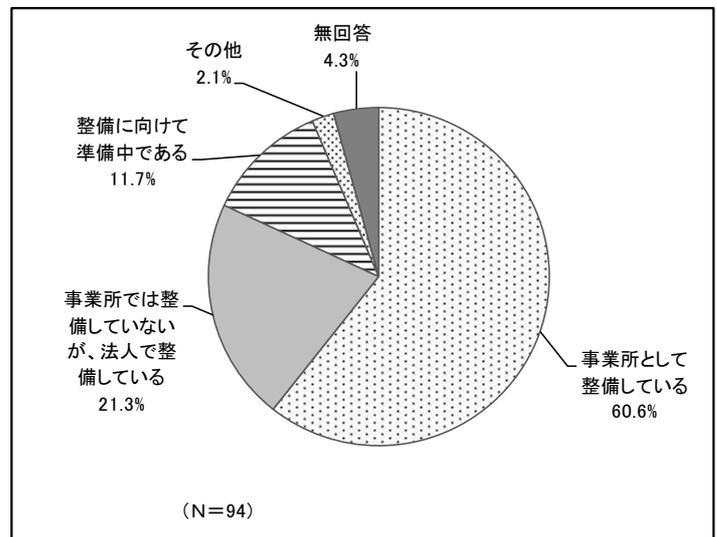
※以下は回答者0人のため未掲載：  
「無回答」



(8) 虐待防止について：虐待防止マニュアルの整備状況

3-4-3 貴事業所では、虐待防止マニュアルを整備していますか。(○は1つ)

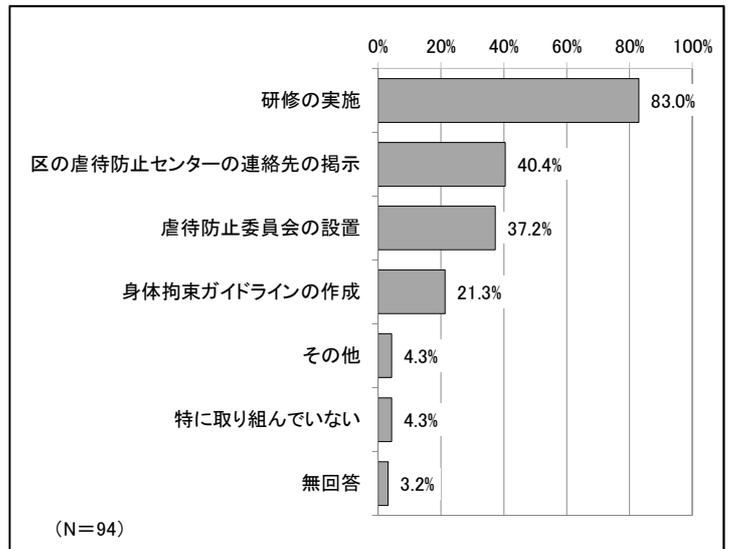
虐待防止マニュアルの整備状況は、「事業所として整備している」が60.6%と最も多く、次いで「事業所では整備していないが、法人で整備している」が21.3%となっています。



(9) 虐待防止について：虐待防止に向けた取り組み

3-4-4 貴事業所では、虐待防止に向けて、どのような取り組みを行っていますか。(〇はいくつでも)

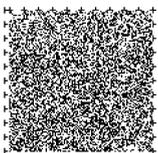
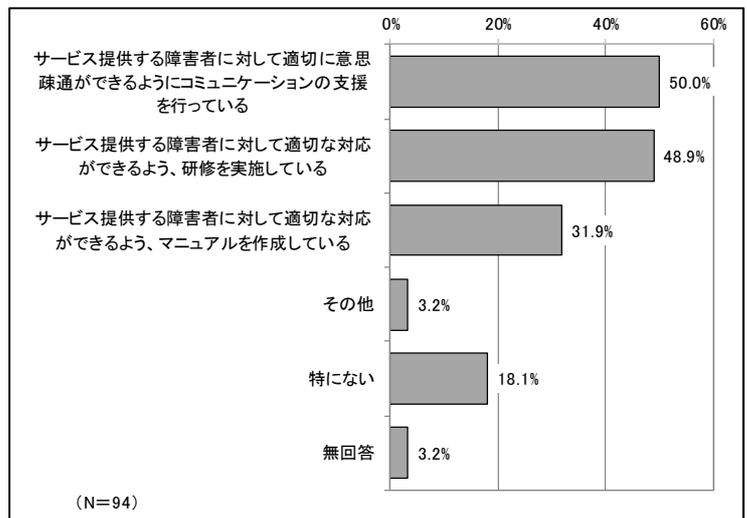
虐待防止に向けた取り組みは、「研修の実施」が 83.0%と最も多く、次いで「区の虐待防止センターの連絡先の掲示」が 40.4%となっています。



(10) 「合理的配慮」の提供に関する取り組み

3-5 貴事業所では障害者差別解消法による「合理的配慮」の提供について、どのような取り組みをしていますか。(〇はいくつでも)

「合理的配慮」の提供に関する取り組みは、「サービス提供する障害者に対して適切に意思疎通ができるようにコミュニケーションの支援を行っている」が 50.0%と最も多く、次いで「サービス提供する障害者に対して適切な対応ができるよう、研修を実施している」が 48.9%となっています。

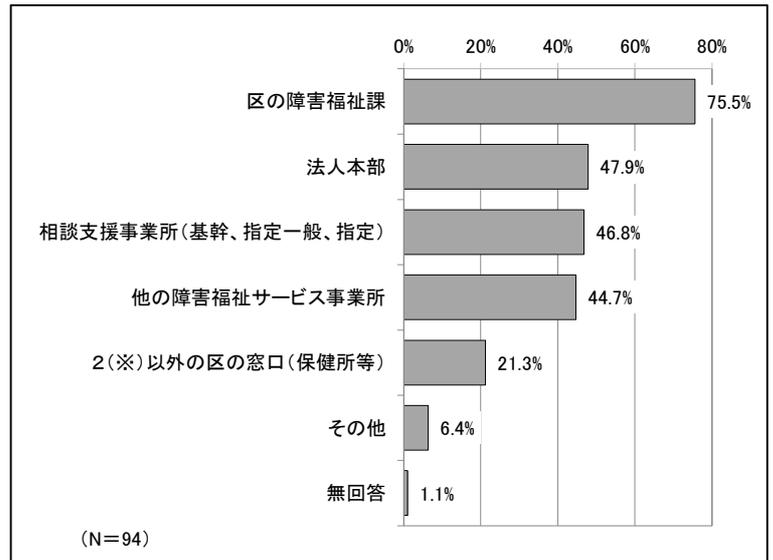


(11) 利用者支援やサービス提供で困った時、相談する先

3-6 貴事業所では利用者支援やサービス提供で困った時、どこに相談しますか。(○はいくつでも)

利用者支援やサービス提供で困った時、相談する先は、「区の障害福祉課」が75.5%と最も多く、次いで「法人本部」が47.9%となっています。

(※) 選択肢2は「区の障害福祉課」

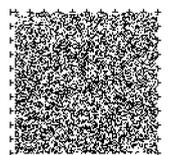
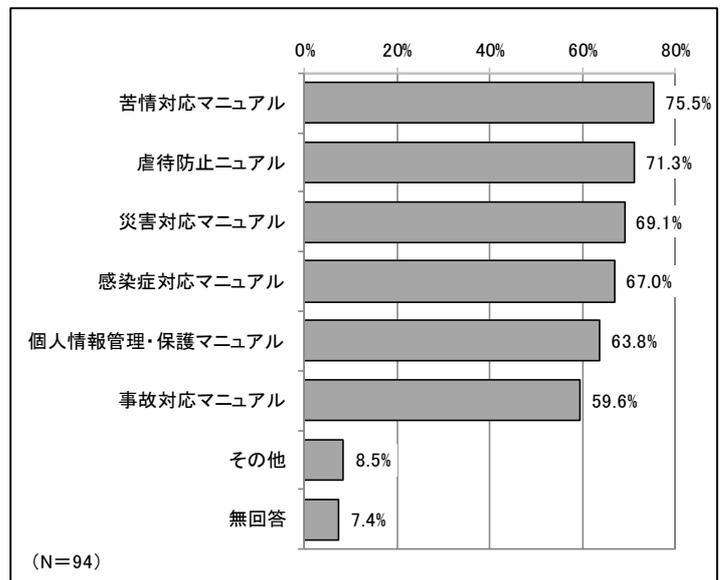


5 危機管理について

(1) 危機管理に対するマニュアルの整備状況

4-1 貴事業所では危機管理に対するマニュアルを整備していますか。(○は1つ)

危機管理に対するマニュアルの整備状況は、「苦情対応マニュアル」が75.5%と最も多く、次いで「虐待防止マニュアル」が71.3%となっています。

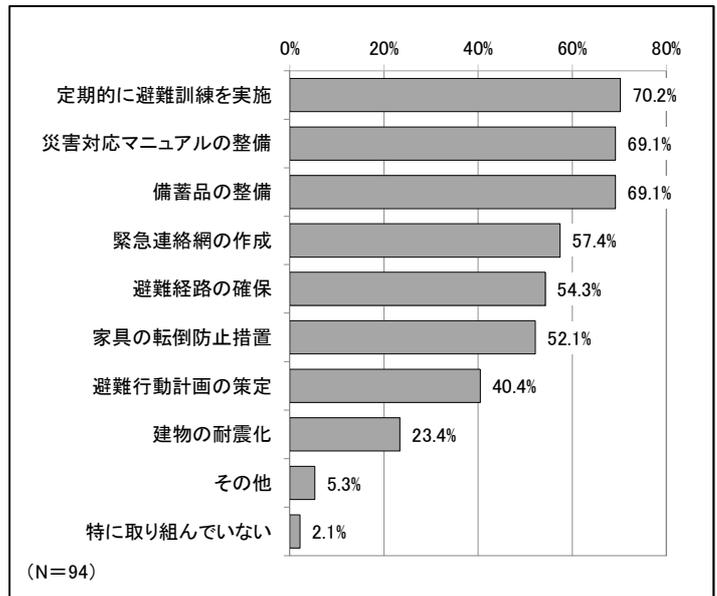


(2) 災害時の対策について： 災害時の対策のために行っている取り組み

4-2-1 貴事業所では、災害時の対策についてどのような取り組みをしていますか。(〇はいくつでも)

災害時の対策のために行っている取り組みは、「定期的に避難訓練を実施」が70.2%と最も多く、次いで「災害対応マニュアルの整備」「備蓄品の整備」が69.1%となっています。

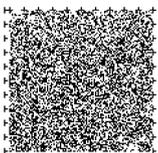
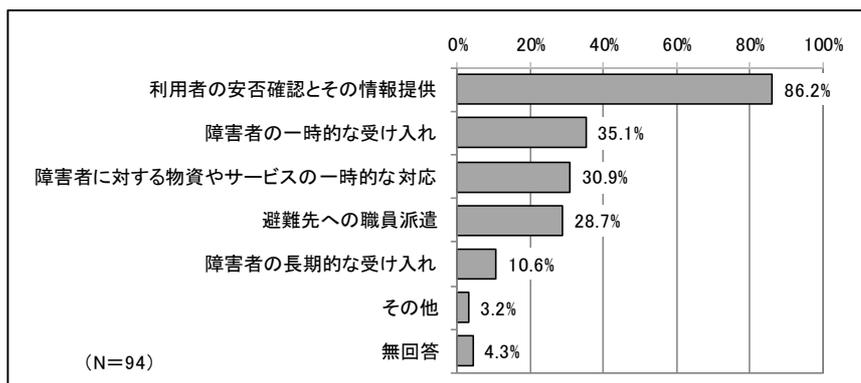
※以下は回答者0人のため未掲載：  
「無回答」



(3) 災害時の対策について： 障害者の安全確保のために必要な協力

4-2-2 貴事業所では、災害発生時の障害者の安全確保にどのような協力が可能ですか。(〇はいくつでも)

障害者の安全確保のために必要な協力は、「利用者の安否確認とその情報提供」が86.2%と最も多く、次いで「障害者の一時的な受け入れ」が35.1%となっています。

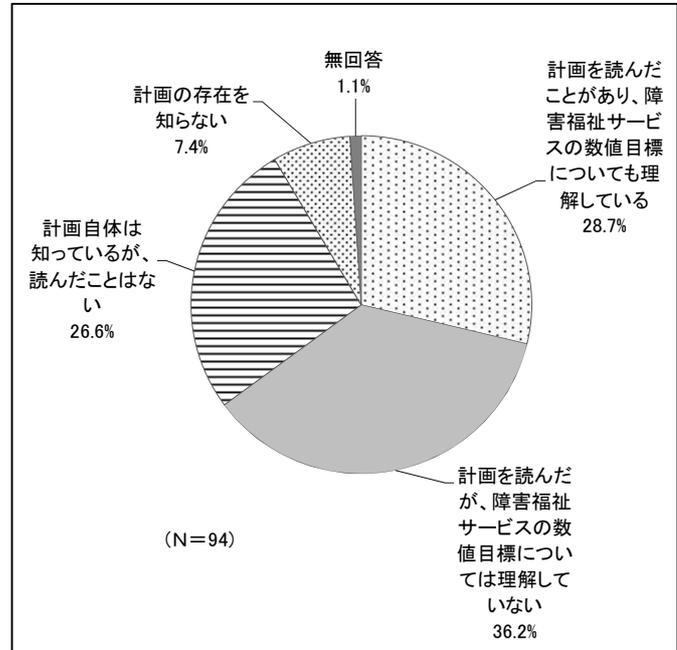


## 6 区の障害者施策について

### (1) 区の計画の認知度

5-1 貴事業所は区の「障害者・障害福祉・障害児福祉計画」を知っていますか。(○は1つ)

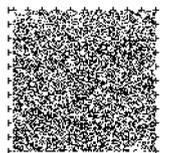
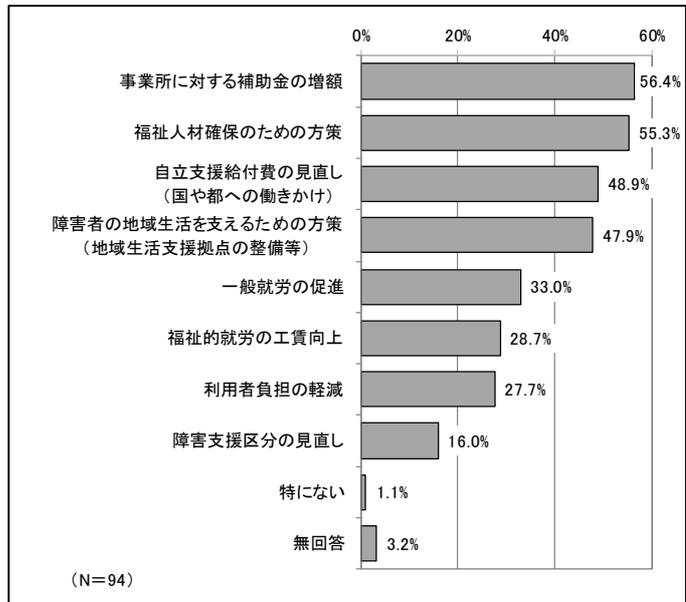
区の「障害者・障害福祉・障害児福祉計画」の周知状況は、「計画を読んだが、障害福祉サービスの数値目標については理解していない」が36.2%と最も多く、次いで「計画を読んだことがあり、障害福祉サービスの数値目標についても理解している」が28.7%となっています。

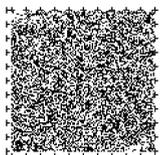


### (2) 区の障害者施策に期待すること

5-2 貴事業所は区に対し、今後の障害者施策にどのようなことを期待しますか。(○はいくつでも)

区の障害者施策に期待することは、「事業所に対する補助金の増額」が56.4%と最も多く、次いで「福祉人材確保のための方策」が55.3%となっています。





## IX 自由意見

